

 **今日のゴール** This is ～. / It is ～. を使って、自分のたからもの(大切なもの・人)を紹介しよう。

STEP 1 お手本を読んで、声に出してまねしよう。

This is my glove.

It **is** old, but it **is** my treasure.

It **is** a present from my grandfather.

▼ 友だちのたからものを紹介(博物館ツアー)

This **is** Ken's glove. It **is** from his grandfather!

This is ～.(これは～です)で見せて、It is ～.(それは～です)で説明を足す。人なら He [She] is ～. に変える。

STEP 2 使える表現(この中から選んで使おう)

This is ～.

It is ～.

He [She] is ～.

my treasure

a present from ～

old / new / cute

Is it ～?

STEP 3 紹介するたからもの(もの・人どちらでもOK)と、説明を3つメモしよう。

たからもの	
説明メモ(3つ)	

STEP 4 紹介カードを書こう(This is ～. で始めて3文以上)。

✓ お手本と表現バンクを見ながらでOK。まちがいを恐れず、まず書いてみよう。

STEP 5 ペア→グループで「クラスたからもの博物館」を開こう。

できたらチェック：

- ☐ ① ペアでカードを読み合う(聞く側は Is it old? など質問を1つ)
- ☐ ② グループで机を「展示台」にして、順番に学芸員として紹介
- ☐ ③ 他のグループの展示を見に行き、いちばん心に残った1点を選ぶ

自己評価 できたところに ○ をつけよう(正直に！)

ふりかえりの観点	◎ よくできた	○ できた	△ もう少し
① 内容 言いたいことが相手に伝わった			
② 正確さ 習った表現を正しく使えた			
③ 流暢さ あまり止まらずに言えた			
④ 態度 相手を見て、聞こえる声で言えた			

ふりかえり 次はどうしたい？ できるようになったこと・次の目標を1つ書こう。

☆発展チャレンジ！ It is not new, but it is special. のように、not の文を1つ入れると紹介に深みが出る。「新しくはない、でも特別」——be動詞だけで気持ちまで伝わる！

先生へ(この教材のねらいと進め方)

ねらい:be動詞の「＝(イコール)」と「状態」の働きを、たからものの紹介という必然のある場面で運用させる。導入・定着ドリル(ss1-be-verb-drill)の次に置く応用の1枚。

進め方:STEP1でモデル音読 → STEP3でメモ → STEP4で下書き → STEP5で博物館ごっこ。実物や写真を持参させると熱量が上がる(持ち物指導は事前に)。

見取り:This is と It is の使い分け／人の紹介で He [She] is に切り替えられるか／am・is・are の一致。評価は裏面の4観点で。